

---

(仮称) 南薩地区新クリーンセンター  
施設整備・運営事業  
審査講評

---

令和2年12月

南薩地区衛生管理組合  
建設工事等総合評価委員会



## 目 次

---

|   |                               |    |
|---|-------------------------------|----|
| 1 | 事業概要                          | 1  |
|   | (1) 事業名称                      | 1  |
|   | (2) 公共施設等の概要                  | 1  |
|   | (3) 事業期間                      | 2  |
|   | (4) 事業方式                      | 2  |
|   | (5) 事業範囲                      | 2  |
| 2 | 審査方法等                         | 2  |
|   | (1) 入札の方法                     | 2  |
|   | (2) 落札者決定までの経過                | 3  |
|   | (3) 総合評価委員会の設置                | 4  |
|   | (4) 総合評価委員会の開催経過              | 4  |
|   | (5) 落札者決定の手順                  | 5  |
|   | (6) 審査手順                      | 6  |
| 3 | 落札候補者の選定結果                    | 9  |
|   | (1) 参加資格確認                    | 9  |
|   | (2) 提案書の基礎審査                  | 10 |
|   | (3) 非価格要素の定量化審査及び提案書に関するヒアリング | 10 |
|   | (4) 入札価格の定量化審査                | 14 |
|   | (5) 総合評価点の算出                  | 14 |
|   | (6) 落札候補者の選定                  | 15 |
| 4 | 総評                            | 16 |

---



## 1 事業概要

### (1) 事業名称

(仮称) 南薩地区新クリーンセンター施設整備・運営事業

### (2) 公共施設等の概要

#### ア 名称

(仮称) 南薩地区新クリーンセンター

#### イ 建設予定地

鹿児島県南さつま市金峰町高橋地内

#### ウ 事業用地面積

約 24,300 m<sup>2</sup>

#### エ 施設の概要

##### (ア) エネルギー回収型廃棄物処理施設

| 概 要   |  |
|-------|--|
| 処理方式  | 全連続焼却方式（ストーカ炉式）  |
| 処理能力  | 145 t/日（72.5 t/日×2炉）   |
| 処理対象物 | 可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、布類、マテリアルリサイクル推進施設（粗大ごみ処理施設）からの残渣、し渣及び助燃剤、災害廃棄物（可燃物） |

##### (イ) マテリアルリサイクル推進施設（粗大ごみ処理施設）

| 概 要   |  |
|-------|--|
| 処理方式  | 受入＋破碎＋磁気選別＋アルミ選別＋可燃物選別＋不燃別選別＋貯留・保管   |
| 処理能力  | 16 t/日（5時間）  |
| 処理対象物 | 不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、乾電池・ボタン電池、蛍光灯・電球、使用済スプレー缶・カセットボンベ・ライター、水銀体温計<br>※乾電池・ボタン電池、蛍光灯・電球、使用済スプレー缶・カセットボンベ・ライター、水銀体温計は受入＋保管のみ |

### (3) 事業期間

#### ア 事業期間

南薩地区衛生管理組合議会の議決日の翌日から令和 26 年 8 月 31 日まで

#### イ 設計・施工期間

南薩地区衛生管理組合議会の議決日の翌日から令和 6 年 8 月 31 日まで

#### ウ 運営期間

令和 6 年 9 月 1 日から令和 26 年 8 月 31 日まで

#### エ 運営準備期間

南薩地区衛生管理組合議会の議決日の翌日から令和 6 年 8 月 31 日まで

### (4) 事業方式

(仮称)南薩地区新クリーンセンター施設整備・運営事業(以下「本事業」という。)は、(仮称)南薩地区新クリーンセンター(以下「本施設」という。)の設計・施工及び運営に係る業務を事業者が一括して行うDBO(Design:設計、Build:施工、Operate:運営)方式により実施する。

南薩地区衛生管理組合(以下「組合」という。)は本施設の設計・施工及び運営に係る資金を調達し、本施設を所有する。

### (5) 事業範囲

事業者が行う本事業の業務は次のとおりである。

#### ア 設計・施工業務

#### イ 運営業務

## 2 審査方法等

### (1) 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の 10 の 2 に規定する、総合評価一般競争入札方式により実施した。

## (2) 落札者決定までの経過

落札者決定の経過は表1のとおりである。

表1 落札者決定の経過

| 日 時                         | 内 容                             |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 令和2年3月2日(月)                 | 入札公告、入札説明書等の公表                  |
| 令和2年3月2日(月)<br>～3月11日(水)    | 入札説明書等に関する質問(第1回)の受付            |
| 令和2年3月24日(火)                | 入札説明書等に関する質問回答(第1回)の公表          |
| 令和2年3月26日(木)<br>～4月1日(水)    | 参加表明書及び参加資格確認申請書類の受付            |
| 令和2年4月6日(月)                 | 参加資格確認結果の通知                     |
| 令和2年4月9日(木)<br>～4月15日(水)    | 入札説明書等に関する質問(第2回)の受付            |
| 令和2年4月10日(金)<br>～4月16日(水)   | 対面的対話確認事項の受付                    |
| 令和2年4月27日(木)<br>～5月11日(月)   | 対面的対話の実施(※1)                    |
| 令和2年5月22日(金)                | 対面的対話結果及び入札説明書等に関する質問回答(第2回)の公表 |
| 令和2年5月22日(金)                | 事業者選定スケジュール及び事業期間の変更(※2)        |
| 令和2年8月25日(火)<br>～8月31日(月)   | 入札提案書類の受付                       |
| 令和2年11月18日(水)<br>～11月19日(木) | 入札提案書類に関するヒアリング、審査              |
| 令和2年11月19日(木)               | 開札                              |
| 令和2年11月19日(木)               | 落札候補者の選定                        |
| 令和2年12月上旬(予定)               | 落札者の決定                          |
| 令和2年12月上旬(予定)               | 落札者の公表                          |

※1 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が発出された影響により、書面にて実施した。

※2 全国に新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が発出された影響による。

### (3) 総合評価委員会の設置

審査は、公平性及び透明性を確保し専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者を含む7名の委員により構成される南薩地区衛生管理組合建設工事等総合評価委員会（以下「総合評価委員会」という。）において行った。

#### [委員の構成]

|      |        |                            |
|------|--------|----------------------------|
| 委員長  | 北村 良介  | 鹿児島大学名誉教授                  |
| 副委員長 | 小野 純男  | 株式会社福岡クリーンエナジー調査役          |
| 委員   | 松尾 浩一  | 鹿児島県土木部建築技監                |
| 委員   | 竹ノ内 淳郎 | 南薩地区衛生管理組合副管理者<br>南さつま市副市長 |
| 委員   | 小泉 智資  | 枕崎市副市長                     |
| 委員   | 小園 義徳  | 日置市副市長                     |
| 委員   | 福留 保   | 南九州市副市長                    |

### (4) 総合評価委員会の開催経過

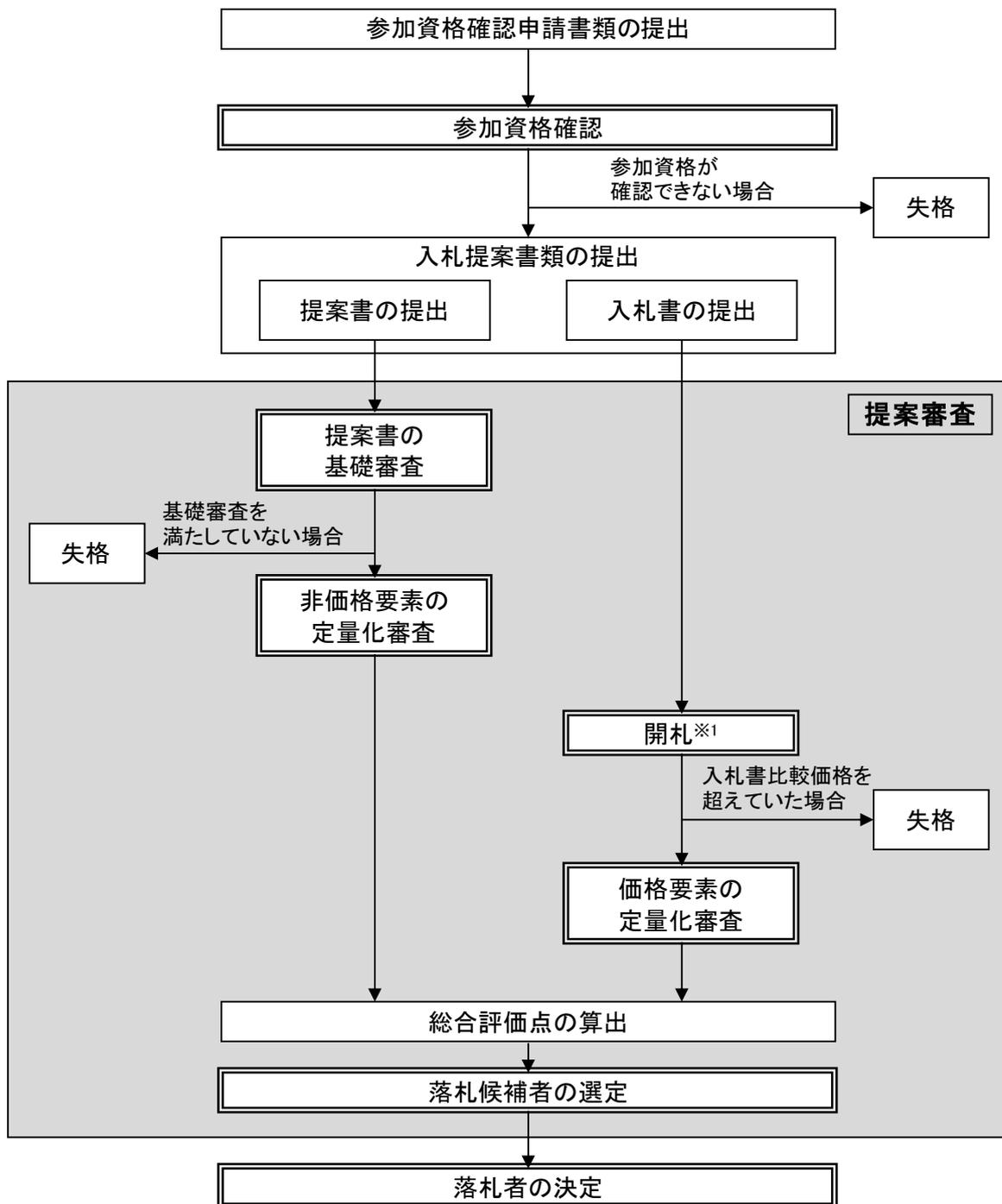
本事業における総合評価委員会の開催経過は、表2のとおりである。

表2 総合評価委員会の開催経過

| 日 付                         | 内 容  |
|-----------------------------|--|
| 令和元年12月26日(木)               | 第1回建設工事等総合評価委員会<br>(実施方針の審議、落札者決定基準の審議①、<br>要求水準書の審議①)   |
| 令和2年2月14日(金)                | 第2回建設工事等総合評価委員会<br>(特定事業の選定結果の確認、入札説明書の審<br>議、様式集の審議、要求水準書の審議②、落札<br>者決定基準の審議②、リスク管理方針書の確<br>認、各種契約書の確認) |
| 令和2年7月27日(月)                | 第3回建設工事等総合評価委員会<br>(資格審査結果の報告、質問回答等の報告)  |
| 令和2年10月1日(木)                | 第4回建設工事等総合評価委員会<br>(基礎審査結果の報告、提案書に対する意見交<br>換(質問検討))   |
| 令和2年11月18日(水)<br>~11月19日(木) | 第5回建設工事等総合評価委員会<br>(事業提案ヒアリング、技術審査(採点)、開<br>札立会、落札候補者の選定)  |
| 令和2年12月4日(金)                | 第6回建設工事等総合評価委員会<br>(審査講評の確認)   |

(5) 落札者決定の手順

落札者決定の手順については、図1のとおりである



※1 提案書の基礎審査において失格となった者の提出した入札書は、開札しない。

※2 総合評価委員会の事務は図中網掛け部分である。

図1 落札者決定の手順

## (6) 審査手順

### ア 参加資格確認

参加資格確認は、参加資格確認申請書類の提出書類により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを組合において確認した。

### イ 提案審査

#### (ア) 提案書の基礎審査

総合評価委員会は、提案書（技術提案書、施設計画図書、添付資料）に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認した。基礎審査項目は、表3のとおりである。

表3 基礎審査項目

| 確認項目     | 内 容  |
|----------|--|
| 入札書類の確認  | ・ 提出された提案書がすべて揃っていること。   |
| 提案書の基礎審査 | ・ 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。<br>・ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。<br>・ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間のくい違い、矛盾等がないこと。 |

#### (イ) 非価格要素の定量化審査

##### a 審査項目及び配点

総合評価委員会は、表4に示す審査項目及び配点に基づき、提案書に記載された内容について、評価を行った。

なお、非価格要素に関する事項の配点は、60点とした。

##### b 非価格要素点の算定方法

提案を求めている審査項目においては、表5に示す5段階評価により評価、点数化を行い、各審査項目の得点を合計して、非価格要素点を算定した。

また、総合評価委員会では、提案書に関するヒアリングを実施し、提案内容の確認等を行ったうえで評価した。

表4 審査項目及び配点

| 審査事項        |                   |                          | No.       | 配点         |
|-------------|-------------------|--------------------------|-----------|------------|
|             | 大項目               | 小項目                      |           |            |
| 非価格要素の定量化審査 |                   |                          |           | <b>60点</b> |
|             | 1                 | 将来にわたって住民に信頼される、安全で安心な施設 | —         | <b>23点</b> |
|             |                   | (1) 施設性能とその維持            | 1         | 4点         |
|             |                   | (2) トラブルの未然防止及び事後対策      | 2         | 3点         |
|             |                   | (3) 公害防止基準（要監視基準値等）と遵守計画 | 3         | 3点         |
|             |                   | (4) セルフモニタリングへの取り組み      | 4         | 2点         |
|             |                   | (5) 情報発信                 | 5         | 2点         |
|             |                   | (6) 組織体制・人員配置計画          | 6         | 3点         |
|             |                   | (7) 地域貢献                 | 7         | 6点         |
|             | 2                 | 地球温暖化対策に寄与する施設           | —         | <b>7点</b>  |
|             |                   | (1) エネルギーの有効活用           | 8         | 4点         |
|             |                   | (2) 見学者対応・環境学習計画         | 9         | 3点         |
|             | 3                 | 広域化の効果を活用した効率的で経済的な施設    | —         | <b>13点</b> |
|             |                   | (1) 長寿命化計画               | 10        | 4点         |
|             |                   | (2) 経営計画・事業収支計画          | 11        | 3点         |
|             |                   | (3) 配置動線計画               | 12        | 3点         |
|             |                   | (4) 建設時の工期遵守             | 13        | 3点         |
|             | 4                 | 自然災害にも対応可能な施設            | —         | <b>7点</b>  |
|             |                   | (1) 施設の強靱化               | 14        | 4点         |
|             | (2) 地域防災拠点        | 15                       | 3点        |            |
| 5           | 豊かな自然と調和する施設      | —                        | <b>8点</b> |            |
|             | (1) 環境保全対策・環境負荷低減 | 16                       | 4点        |            |
|             | (2) 景観            | 17                       | 4点        |            |
| 6           | その他               | —                        | <b>2点</b> |            |
|             | (1) その他独自提案       | 18                       | 2点        |            |
| 価格要素の定量化審査  |                   |                          |           | <b>40点</b> |
| 1           | 入札価格              | —                        | 40点       |            |

表5 非価格要素に関する得点化方法

| 評価 | 審査基準          | 得点化方法   |
|----|---------------|---------|
| A  | 特に優れている       | 配点×1.00 |
| B  | AとCの中間程度      | 配点×0.75 |
| C  | 優れている         | 配点×0.50 |
| D  | CとEの中間程度      | 配点×0.25 |
| E  | 要求水準を満たす程度である | 配点×0.00 |

※1 各審査項目の得点は、各委員が個別に行った評価の平均値とした。

※2 各審査項目の得点は、小数第3位を四捨五入した値とした。

(ウ) 入札価格の定量化審査

入札価格の定量化審査においては、入札書に記載された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認したのち、入札価格について、表6に示す得点算定式により得点化した。

なお、入札価格に関する事項の配点は40点とした。

表6 入札価格の得点算定式

| 入札価格の得点算定式  |
|---|
| ○最低入札価格 > 定量化限度額 の場合  |
| 当該入札参加者の価格要素点 = $40 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$ |
| ○最低入札価格 ≤ 定量化限度額 の場合  |
| 当該入札参加者の価格要素点 = $40 \text{ 点} \times \frac{\text{定量化限度額}}{\text{入札価格}}$ |
| ※入札価格が定量化限度額以下の入札参加者の価格要素点は40点満点  |

※1 得点は、小数第3位を四捨五入した値とした。

※2 定量化限度額は、開札時に公表した。

(エ) 総合評価点の算出

非価格要素の定量化審査、入札価格の定量化審査により算出した得点から、表7に示す算定式により、入札参加者の総合評価点を算出した。

表7 総合評価点の算出

| 総合評価点の算定式   |
|---|
| $\left( \begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価点} \\ \text{[100点]} \end{array} \right) = \left( \begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{非価格要素点} \\ \text{[60点]} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格要素点} \\ \text{[40点]} \end{array} \right)$ |
| ※ [ ] 内は各得点の配点を示す。  |

### 3 落札候補者の選定結果

#### (1) 参加資格確認

令和2年3月2日に入札公告を行い、令和2年3月26日～4月1日に参加資格確認申請書類を受け付けたところ、以下の3グループから申請があった。

組合は参加資格確認を行い、当該グループの入札参加資格を確認し、令和2年4月6日に代表企業に対して入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表8 参加資格確認申請書類提出グループ

| 受付グループ名 | あかグループ  | みどりグループ  | あおグループ  |
|---------|---|--|---|
| グループ名   | 川崎技研グループ  | 三菱重工環境・化学エンジニアリンググループ  | 日立造船グループ  |
| 代表企業    | 株式会社川崎技研  | 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社九州支店  | 日立造船株式会社九州支社  |
| 構成員     | <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社日本管財環境サービス九州支店</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>西日本JKO株式会社</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ニチゾウ九州サービス株式会社</li> <li>極東開発工業株式会社</li> <li>極東サービスエンジニアリング株式会社</li> </ul>  |
| 協力企業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>大豊建設株式会社九州支店</li> <li>株式会社堀之内建設</li> <li>株式会社松建</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社前田組</li> <li>株式会社久保工務店伊集院支店</li> <li>森建設株式会社</li> <li>株式会社田川組</li> <li>株式会社大建設計九州事務所</li> <li>株式会社田代設計工房加世田事務所</li> <li>吉村興業株式会社</li> <li>有限会社枕崎清掃社</li> <li>有限会社サニテック</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社渡辺組</li> <li>南生建設株式会社</li> <li>小牧建設株式会社</li> <li>株式会社上東建設</li> <li>株式会社九電工鹿児島支店</li> <li>株式会社中釜電設</li> </ul> |

なお、総合評価委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべての書類において参加グループの企業名は伏せ、表 8 の受付グループ名で識別して評価を行った。

## (2) 提案書の基礎審査

令和 2 年 8 月 26 日～8 月 31 日に入札参加資格を有する 3 グループより提案書が提出された。

3 グループの提案書は、いずれも基礎審査項目を満たしていることが確認されたため、総合評価委員会において、基礎審査に合格しているものと認められた。

## (3) 非価格要素の定量化審査及び提案書に関するヒアリング

令和 2 年 11 月 18 日及び 11 月 19 日に、総合評価委員会において非価格要素の定量化審査を行った。審査に際しては、提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び委員による提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

定量化審査の審査項目について、適確な提案がなされているかの審査を行い、非価格要素の定量化審査に関する得点化を行った。なお、評価は組合の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式である。

審査結果は表 9、非価格要素の各審査項目についての講評は表 10 のとおりである。

表9 非価格要素の定量化審査結果

| 審査事項             |                          | No. | 配点  | あかグループ | みどりグループ | あおグループ |
|------------------|--------------------------|-----|-----|--------|---------|--------|
| 大項目              | 小項目                      |     |     |        |         |        |
| 1                | 将来にわたって住民に信頼される、安全で安心な施設 |     | 23点 | 9.65   | 14.24   | 15.06  |
|                  | (1) 施設性能とその維持            | 1   | 4点  | 1.71   | 2.57    | 2.57   |
|                  | (2) トラブルの未然防止及び事後対策      | 2   | 3点  | 1.29   | 1.93    | 1.82   |
|                  | (3) 公害防止基準（要監視基準値等）と遵守計画 | 3   | 3点  | 1.07   | 1.82    | 2.25   |
|                  | (4) セルフモニタリングへの取り組み      | 4   | 2点  | 0.86   | 1.21    | 1.14   |
|                  | (5) 情報発信                 | 5   | 2点  | 0.86   | 1.14    | 1.07   |
|                  | (6) 組織体制・人員配置計画          | 6   | 3点  | 1.50   | 1.71    | 1.71   |
|                  | (7) 地域貢献                 | 7   | 6点  | 2.36   | 3.86    | 4.50   |
| 2                | 地球温暖化対策に寄与する施設           |     | 7点  | 2.93   | 4.11    | 4.71   |
|                  | (1) エネルギーの有効活用           | 8   | 4点  | 1.43   | 2.29    | 2.57   |
|                  | (2) 見学者対応・環境学習計画         | 9   | 3点  | 1.50   | 1.82    | 2.14   |
| 3                | 広域化の効果を活用した効率的で経済的な施設    |     | 13点 | 6.25   | 8.54    | 8.18   |
|                  | (1) 長寿命化計画               | 10  | 4点  | 1.86   | 2.86    | 2.71   |
|                  | (2) 経営計画・事業収支計画          | 11  | 3点  | 1.39   | 1.93    | 2.04   |
|                  | (3) 配置動線計画               | 12  | 3点  | 1.61   | 1.71    | 1.61   |
|                  | (4) 建設時の工期遵守             | 13  | 3点  | 1.39   | 2.04    | 1.82   |
| 4                | 自然災害にも対応可能な施設            |     | 7点  | 3.00   | 4.64    | 4.18   |
|                  | (1) 施設の強靱化               | 14  | 4点  | 1.71   | 2.71    | 2.14   |
|                  | (2) 地域防災拠点               | 15  | 3点  | 1.29   | 1.93    | 2.04   |
| 5                | 豊かな自然と調和する施設             |     | 8点  | 3.85   | 5.15    | 5.15   |
|                  | (1) 環境保全対策・環境負荷低減        | 16  | 4点  | 1.71   | 2.86    | 2.86   |
|                  | (2) 景観                   | 17  | 4点  | 2.14   | 2.29    | 2.29   |
| 6                | その他                      |     | 2点  | 1.14   | 1.07    | 1.43   |
|                  | (1) その他独自提案              | 18  | 2点  | 1.14   | 1.07    | 1.43   |
| 非価格要素の定量化審査の得点 計 |                          |     | 60点 | 26.82  | 37.75   | 38.71  |

表 10 非価格要素に関する事項の講評

| 審査項目                       | 講評   |
|----------------------------|--|
| 1 将来にわたって住民に信頼される、安全で安心な施設 |  |
| (1) 施設性能とその維持              | ・みどりグループ及びあおグループは、幅広い負荷率での安定燃焼について、高く評価した。   |
| (2) トラブルの未然防止及び事後対策        | ・みどりグループは、運營業務段階に加えて設計・施工段階についても対策がなされており、高く評価した。  |
| (3) 公害防止基準（要監視基準値等）と遵守計画   | ・あおグループは、要監視基準値の設定方法について、高く評価した。   |
| (4) セルフモニタリングへの取り組み        | ・各グループとも、セルフモニタリングへの取り組みについて、経験に基づいた信頼のある提案がなされていた。<br>・みどりグループは、モニタリング強化の提案について、高く評価した。 |
| (5) 情報発信                   | ・各グループとも、情報発信について、経験に基づいた信頼のある提案がなされていた。<br>・みどりグループは、利用者にとって有益な情報の発信を行う提案について、高く評価した。   |
| (6) 組織体制・人員配置計画            | ・各グループにとも、組織体制・人員配置計画について、経験に基づいた信頼のある提案がなされていた。   |
| (7) 地域貢献                   | ・あおグループは、地元企業に係る貢献金額が最大である点を高く評価した。  |
| 2 地球温暖化対策に寄与する施設           |  |
| (1) エネルギーの有効活用             | ・あおグループは、売電量の確保に対する取り組みについて、高く評価した。  |
| (2) 見学者対応・環境学習計画           | ・あおグループは、高齢者や身障者に配慮した提案について、高く評価した。  |
| 3 広域化の効果を活用した効率的で経済的な施設    |  |
| (1) 長寿命化計画                 | ・みどりグループは、最新の技術を用いた提案について、高く評価した。  |
| (2) 経営計画・事業収支計画            | ・あおグループは、手厚い計画について、高く評価した。   |

| 審査項目              | 講評   |
|-------------------|--|
| (3) 配置動線計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループとも、配置動線計画について、経験に基づいた信頼のある提案がなされていた。</li> <li>・あかグループは、渋滞緩和に対する提案について、評価した。</li> <li>・みどりグループは、焼却灰・飛灰の搬出に対する提案について、高く評価した。</li> </ul>   |
| (4) 建設時の工期遵守      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりグループは、工期遵守のための工期短縮策について、高く評価した。</li> </ul>  |
| 4 自然災害にも対応可能な施設   |  |
| (1) 施設の強靱化        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりグループは、地震対策や粗大ごみ処理施設の火災対策について、高く評価した。</li> </ul>   |
| (2) 地域防災拠点        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおグループは、感染症対策を考慮した避難所計画について、高く評価した。</li> </ul>   |
| 5 豊かな自然と調和する施設    |  |
| (1) 環境保全対策・環境負荷低減 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりグループは、建設汚泥の再利用や悪臭防止対策について、高く評価した。</li> <li>・あおグループは、二酸化炭素削減効果について、高く評価した。</li> </ul>  |
| (2) 景観            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループとも、景観について、経験に基づいた信頼のある提案がなされていた。</li> <li>・あかグループは、隣接する吹上浜サイクリングロードを生かした提案について、評価した。</li> <li>・みどりグループは、きんぼうの杜からの景観について、高く評価した。</li> <li>・あおグループは、塩害や乾燥に配慮した植栽計画について、高く評価した。</li> </ul> |
| 6 その他             |  |
| (1) その他独自提案       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループとも、その他独自提案について、経験に基づいた信頼のある提案がなされていた。</li> <li>・あおグループは、国のキャッシュレス推進政策を踏まえた提案などについて、高く評価した。</li> </ul>   |

#### (4) 入札価格の定量化審査

提案書を提出した入札参加者の立会いのもとで令和2年11月19日に開札を行い、各入札参加者の入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

総合評価委員会は、開札結果の報告を受け、入札価格の定量化審査に関する得点化を行った。得点化の結果は、表11のとおりである。

表11 入札価格の定量化審査結果

| 項目                   |              | あかグループ          | みどりグループ         | あおグループ          |
|----------------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 入札価格(税抜)             |              | 24,752,633,965円 | 25,682,400,000円 | 25,700,000,000円 |
| 内訳                   | 設計・建設業務に係る対価 | 13,877,000,000円 | 16,682,400,000円 | 15,263,000,000円 |
|                      | 運營業務に係る対価    | 10,875,633,965円 | 9,000,000,000円  | 10,437,000,000円 |
| 入札価格の定量化審査の得点(配点40点) |              | 40.00点          | 40.00点          | 40.00点          |

※予定価格 35,313,300,000円(消費税及び地方消費税額を含む。)

入札書比較価格 32,103,000,000円(消費税及び地方消費税額を含まない。)

定量化限度額 25,882,000,000円(消費税及び地方消費税額を含まない。)

#### (5) 総合評価点の算出

「非価格要素の定量化審査の得点」、「入札価格の定量化審査の得点」を加算して、表12のとおり総合評価点を算出した。

表12 総合評価点の算出結果

| 入札参加者   |                           | 非価格要素の定量化審査の得点(A) | 入札価格の定量化審査の得点(B) | 入札価格(税抜)        | 対入札書比較価格 | 総合評価点(A+B) |
|---------|---------------------------|-------------------|------------------|-----------------|----------|------------|
| 受付グループ名 | 代表企業名                     |                   |                  |                 |          |            |
| あかグループ  | 株式会社川崎技研                  | 26.82点            | 40.00点           | 24,752,633,965円 | 77.1%    | 66.82点     |
| みどりグループ | 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社九州支店 | 37.75点            | 40.00点           | 25,682,400,000円 | 80.0%    | 77.75点     |
| あおグループ  | 日立造船株式会社九州支社              | 38.71点            | 40.00点           | 25,700,000,000円 | 80.1%    | 78.71点     |

**(6) 落札候補者の選定**

総合評価委員会は、上記の結果に基づき「あおグループ」（代表企業：日立造船株式会社九州支社）を落札候補者として選定した。

## 4 総評

本事業は、組合構成市（枕崎市、日置市、南さつま市、南九州市の4市）の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなどの処理を担う（仮称）南薩地区新クリーンセンターについて、効率的かつ効果的な設計・施工及び運営・維持管理を行い、将来にわたり安全で安定したごみの適正処理、循環型社会を構築するためのエネルギー回収を進めることを目的としている。

本事業では、本施設の設計・施工及び運営・維持管理を一括して発注するDBO（Design-Build-Operate）方式を採用しており、民間の創意工夫による提案を取り入れた良質な設計・施工業務と、効率的かつ効果的な運營業務を実施するものである。

このような背景を踏まえ、総合評価委員会では、基本理念及び施設整備・運営コンセプトをもって評価基準及び方法等を定め、落札候補者選定のための審査を実施した。

今回、入札に参加された3グループの提案は、いずれも本事業の特徴を的確に捉えたうえで、本事業の有する課題に対応するための創意工夫がなされており、いずれも過去の経験に基づく魅力的な提案であった。

審査においては、提案書及び入札価格に対して厳正なる審査を行った結果、日立造船株式会社九州支社を代表企業とするあおグループを落札候補者として選定するに至った。

あおグループの提案に対しては、組合の期待する創意工夫と事業の効率性を両立していると評価されたものであり、特に「公害防止基準（要監視基準値等）と遵守計画」、「地域貢献」、「見学者対応・環境学習計画」、「環境保全対策・環境負荷低減」が高く評価された。一方で、総合評価委員会の審議において、以下に示す要望事項が挙げられた。

- (1) 事業期間にわたって、要求水準事項及び提案事項を確実に履行すること。
- (2) 感染症対策に十分配慮を行いつつ、組合と協力して令和6年9月の供用開始を達成すること。
- (3) 意匠デザインなどの景観については、組合と十分に協議を行い、柔軟な対応に努めること。
- (4) 直接搬入車両の待機スペースについて、設計の段階で見直しを行うこと。
- (5) 一般廃棄物の特性でもあるごみ量、ごみ質の変動や処理不適物等の混入に対し、柔軟な対応に努めること。
- (6) 災害時においても継続してごみ処理を行うことが可能な施設となるよう、最新の情報の収集等に努め、より一層の対策に努めること。
- (7) 事業期間を通じて、地元雇用と地元活用提案の実現、及び更なる拡大に努めること。

(8) 周辺住民等との信頼関係の構築に向けて、誠意を持って情報提供等に努めること。

あおグループは、上記の要望事項等について、本事業をより良いものとするために組合と十分な協議を行い、真摯な対応に努めてもらいたい。

さらに、事業期間を通じて誠意をもって各業務を行い、組合と協働して地域との信頼関係を築きながら、本事業を円滑に推進することを期待する。

令和2年12月

南薩地区衛生管理組合建設工事等総合評価委員会  
委員長 北村 良介